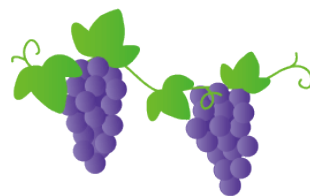


芸閣

～図書館だより～

第4号
2017年9月

桐蔭図書館発行



～～ 図書館講座報告 ～～

重陽の節句

9月9日は重陽の節句。五節句の一つで、3世紀ごろから陰暦の9月9日に中国で祝われてきた行事です。菊が咲き香る季節から「菊の節句」とも言われています。杯に菊の花を浮かべた菊酒を飲み、不老長寿を願ったそうです。

五節句とは、1月7日の人日の節句（七草粥）、3月3日の桃の節句、5月5日の端午の節句、7月7日の七夕の節句、9月9日の重陽の節句をさします。

こうした節句は、行事と関係する植物の名前を冠して呼ばれることも多く、1月7日は七草の節句、3月3日は桃の節句、5月5日は菖蒲の節句、7月7日は笹の節句、そして9月9日は菊の節句と呼ばれています。

図書館講座は中学校との合同行事でPOP作りを行いました。アイデアに困ったときは周りの人からアドバイスをしてもらったり、何人かで一緒に一つのPOPを作ったりして、とても楽しかったです。

完成したPOPはどれもクオリティーが高く、それぞれの個性が出ていて本への興味をそえられるものばかりでした。読書の秋に面白い本を探してみてください。

3E 東山

今年度1回目の図書館講座はPOPづくりでした。中高あわせて28人の参加でした。

図書館講座というと、厳かな雰囲気の中で作成するようなイメージを持っている人がいるかもしれませんが、そんなことはなく友達たちと和気あいあいと作りました。

手順は簡単。まず土台となる色紙を選ぶ。次に選んだ色紙に紹介したい本について自分の思いをぶちまける。これだけなのです。こんなに簡単にできちゃうものなのです。だから本が好きな方、少しでも時間があれば、ぜひ、図書館のPOPづくりに参加してみてもどうでしょうか。また、こういう経験をするのもなかなかないので大変有意義な時間を過ごすことができ、図書局員として最後の仕事を全うすることができました。

3D 松本

文化祭催し

POP 美術館&古雑誌市

文化祭両日とも、図書局員が作成したPOPと本を展示します。是非、ご覧ください。
(図書館にて)

また、2日目には、古雑誌市を開催します。2016年4月～2017年3月の雑誌を1冊10円で！
(2階渡り廊下にて)



(裏面に新着図書の紹介と文学散歩の報告を載せています)

新 着 図 書

『影裏』 沼田真佑 著 文藝春秋

(第 157 回芥川賞受賞)

『月の満ち欠け』 佐藤正午 著 PHP 研究所

(第 157 回直木賞受賞)

『名もなき風たち』 はらだみずき 著 KADOKAWA

『ゼツメツ少年』 重松清 著 新潮社

『忍物語』 西尾維新 著 講談社

『弥栄の鳥』 [ハ咫鳥シリーズ] 阿部智里 著 文藝春秋

『パプリカ』 筒井康隆 著 新潮社

『私が失敗した理由は』 真梨幸子 著 講談社

『アキラとあきら』 池井戸潤 著 徳間書店

『書店ガール 6』 碧野圭 著 PHP 研究所

『真夜中のパン屋さん6』 大沼紀子 著 ポプラ社

『AX』 伊坂幸太郎 著 角川書店

『風と共にゆとりぬ』 朝井リョウ 著 文藝春秋

『どこまでも生きぬいて』 水谷修 著 PHP 研究所

『アメリカの大学生が学んでいる「伝え方」の教科書』 スティーブン・ルークス 著 SBクリエイティブ

『受験脳の作り方』 池谷裕二 著 新潮社

『必勝法の数学』 徳田雄洋 著 岩波書店

『楽譜を読むチカラ』

ゲルハルト・マンテル 著 音楽之友社

『能面の見かた』 小林真理 著 誠文堂新光社

『色の名前事典507』 福田邦夫 著 主婦の友社

『はじめまして物理』 吉田武 著 東海大学出版部

『ノーノー・ボーイ』 ジョン・オカダ 著 旬報社

『知の操縦法』 佐藤優 著 平凡社

『11 歳から正しく怖がるインターネット』

小木曾健 著 晶文社

『子どもと貧困』 朝日新聞取材班 朝日新聞出版

『アイドル受験戦記 ～SKE48をやめた私が数学

0点から偏差値69の国立大学に入るまで～』

菅なな子 著 文藝春秋

文学散歩 報告

8月8日に文学散歩で京都国立博物館へ行ってきました。

印象に残っているのは、館内の最初の展示室にあった仏像等の彫刻と書跡です。今のように発達した道具がない時代のものなのに細部まで丁寧に造り込まれた彫刻を見て、昔の職人たちのすごさに感動しました。至高の書跡を集めた展示には、古典の授業でお馴染みの紀貫之や日本人なら知らない人はいないだろう聖徳太子のものと伝わる筆跡も見ることができました。人によって字の癖などもあり、おもしろかったです。

歴史や文学に直に触れられたような、貴重な経験を得ることができました。

2A 澤田



私たち図書局員は、夏休み中に文学散歩で京都国立博物館を訪れました。京都国立博物館は建物自体が重要文化財になっており、その壮大な煉瓦造に圧倒されました。荘厳で繊細な雰囲気のある仏像や、文様の意味や使い方が気になる着物や道具類、瓦版や錦絵を見て歴史を学べるものなど、様々な展示があり、大変興味深かったです。

短い滞在時間ではありましたが、国宝や重要文化財を沢山見る事ができ、価値のある良い経験をする事ができました。今年は京都国立博物館開館120周年。10月からは特別展覧会 国宝が始まります。興味のある方は是非訪れてみてください。

2A 山本

